

## 新潟祭りでまちを活気づけよう

上山中学校 3年 渡邊 綾乃

新潟は昨年から続く大きな自然災害の影響で、お金も活気もなくなっています。そこで私はこれからの新潟を活気づけるために、新潟の一大イベント「新潟祭り」を改造することを提案します。

具体的な計画としては、まず祭りの範囲を古町・万代・新潟駅に拡大します。範囲を駅周辺まで広げる事によって、各交通機関で市内へ来た観光客が祭りに参加しやすくなります。祭りへの行き来が便利になれば当然参加者も増えるでしょう。次に、期間を5日間に増やします。これにより祭りに来る人の人数や内容の充実が図れます。現に有名な東北三大祭りの内、仙台七夕祭り・秋田竿灯祭りは3日間、青森ねぶた祭りは7日間も祭りをやっていることがわかりました。最後に、内容を充実させます。まず、毎年恒例の花火大会のときに升席をやすらぎ堤一帯に敷きます。そこではお金をとって場所を提供することとします。そして、総おどり・民謡流し・おみこし、といった地域参加型のイベント類は、いずれも参加を学校等団体に呼びかけ大会制にします。みこしはすべて手作りで参加することとします。次に新しい試みとしてコンサートやライブを期間中に行います。これを行うことによって若い人の祭りへの参加がさらに期待できます。また、今まで数少なかった屋台も増加します。やすらぎ堤・万代橋に並べ食事に利用してもらったり、新潟ならではの「ぼっぼ焼き」もその場を通して他県の人たちに知ってもらいます。もう一つ新しい企画として、「体験コーナー」を設置します。これは、学校や団体に企画を申請してもらい、場所だけを提供することとします。つまり地域一般の人もイベントを提供する側になれるという制度です。他県の例としては、地域の団体でもちつきを企画したり、学校ごとにコンサートをやったりしているそうです。これらの改革はいずれも2009年の国体までとし、宣伝活動を今よりも盛んにします。国体は、新潟といえば新潟祭り、という考えを他県の人に植え付ける大きなチャンスになるからです。

また、交通渋滞の対応策として、シャトルバスを運行させます。

このように、祭りが楽しいものになり人気が出ると、口コミやネットで有名になる確率もアップし年々参加者が増える、という事も考えられます。それと共に他県からの収入も期待できるでしょう。そして何よりも、地域の団結は勿論、祭りを終えた後の新潟の雰囲気も向上します。また、新潟全体の一体感を味わう事も出来るでしょう。

以上のようなメリットからも分かるように、新潟祭りを発展させると新潟が活性化されます。よりよい新潟を追求し、新しいものをもっと取り入れていくために、まずは新潟祭りを改造することを提案します。